

# 令和2年度 奈良中央信用金庫 助成決定団体一覧

番号	団体名	団体の種別	主な活動対象地域	主たる事務所の所在地	活動分野	支援を受けて取り組みたい活動の概要及び目標
1	特定非営利活動法人 電子自治体アドバイザークラブ	NPO法人	奈良県全域	奈良市	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり</li> <li>子どもの健全育成</li> <li>情報化社会の発展</li> </ul>	<p>●「地域スマート街づくり」の取組み</p> <p>「高齢化社会」が進行する中で、社会的ひずみと、超スピードで進化するテクノロジーの課題がある。奈良県の老年(65歳以上)人口は、2040年には、41%になり、奈良県の15の町村では、43%～67%になると予測されている。医療など基礎的な生活サービスを受けることが困難になり、これに対する解は見いだせないでいる。地域の住民が時代の潮流に乗って、技術革新を地域の活性化に結びつけていく。子供や大人がICT関連の知識を学び、ICTの強い「スマート街づくり」に取組み、世代を超えてICTのバリアフリー社会を目指す。高齢者の経験・知見を次世代に継承し、地域を動かす有能な人材を発掘・育成して、この難題を克服していく。ICTを活用して豊かな人生を享受できる「Quality of Life」を目指す。</p>
2	特定非営利活動法人 青少年の自立を支える奈良の会	NPO法人	奈良県全域	奈良市	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健全育成</li> </ul>	<p>退居者支援として、仕事や生活での悩み事などの電話相談やあらん家の家への里帰り、関係機関との連携、そして退居者の居住先に出向き、就労活動の支援や役所への申請手続きに同行したり、一緒に買い物や調理をしたりする生活支援など多岐にわたって活動しています。これまで自己資金で取り組んできましたが、十分な支援が出来ているとはいえません。令和2年4月に女子ホーム「ミモザの家」も開設します。子ども達が地域で安心して自立できるよう、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。</p>
3	特定非営利活動法人 ていあら	NPO法人	奈良県全域	奈良市	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健・医療</li> <li>福祉</li> <li>子どもの健全育成</li> <li>子育て支援</li> </ul>	<p>医療的ケア児を持つ母は「助けてもらった命、寿命がある限り何があっても受け止め自分ができる精一杯のことを子どもにしてあげたい」と言われます。</p> <p>きょうだいについて母は「障害を持つ子どもに付きつきりな為、十分な愛情表現ができていない、子どもも気をつけている」と言われます。</p> <p>障害を持つ当事者は「生き辛い」そのご家族は「どうしたらいいかわからない、悲しい」と言われます。</p> <p>当法人は、ご家族や当事者の心情を受け止めながら、“楽しい・嬉しい・安心・居心地が良い”と思ってくれるような活動やイベントを行い、たくさんの皆さんと繋がり、次世代へもしっかりと繋がる支援活動を行っていきたく思っております。</p>
4	プロGRESS奈良	任意団体	奈良県全域、 全国	奈良市	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉</li> <li>社会教育</li> <li>スポーツ</li> </ul>	<p>電動車椅子サッカーチーム『プロGRESS奈良』は奈良県内を拠点にパワーチェアフットボールを通じて、常に向上心を持ち、人として互いに成長し合いながら地域貢献や競技の普及と発展を目的として、平成25年6月に誕生しました。</p> <p>電動車椅子サッカーは重度の障がい者も参加できるスポーツです。</p> <p>さらに、スピード感や迫力があり、観戦者も楽しめます。</p> <p>活動を通じて、障がい者の健康増進、体力向上、ストレスの低減、自己の可能性の追求、仲間作りから豊かな生活の実現等の繋がります。</p> <p>ボランティアやサポーターと共に、全国大会優勝を目指して日々奮闘する中で、ノーマライゼーションの推進に貢献しています。</p> <p>いただいたご寄付は、地域での啓発活動や体験会・交流会の費用に活用させていただき、今まで以上に発展していきます。</p>
5	特定非営利活動法人 きららの木	NPO法人	奈良市、生駒市	奈良市	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉</li> <li>子どもの健全育成</li> <li>子育て支援</li> </ul>	<p>奈良市社会福祉協議会が2年間、鳥見ふらっとで開催してきた「夏のつどい」を、昨年はきららの木に会場を移し「夏のつどいinきららの木」として、奈良市社会福祉協議会と共催で開催しました。今年も、きららの木を会場として、奈良市社会福祉協議会と共催で開催する予定です。</p> <p>「夏のつどいinきららの木」を、きららの木で開催することにより、障がいのある人とない人がふれあい、自然な形で障害者理解を広めるとともに、奈良県が進めるまほろば「あいサポート運動」推進の一翼を担います。</p>